

ロータリーの



# 職業奉仕

クラブレベルフォーラム

2002. 10. 10(木)

## 1. 卓話

(テーマ) 「職業奉仕と四つのテスト」

国際ロータリー2640 地区



職業奉仕委員長 桃田 隆彦 様

2. 私達は、ロータリーの「職業奉仕」の實踐に  
努めているだろうか？

「職業奉仕」の自己診断

3. 歌で詠む 「職業奉仕」



2002～2003

高師浜ロータリークラブ

職業奉仕委員会

# 「四つのテスト」と「職業奉仕」

寄稿 米田實豊会員

フォアウェイ 四つ辻です。そこで四辻に辿り着いた時に右へ行くのが正しいか、左にすべきかと一旦停止して進路を考えることであると解釈することが出来ます。

日本の諸企業のトップに立つ職業人であるロータリアンが、心に銘じて「四つのテスト」に関心を持ってほしいと思います。

ロータリー活動の中での職業奉仕というのは、理念があって現実があるわけです。そして、このギャップが激しいのです。

理念だけで飯は食べられないよ、というわけです。ロータリーの理念だけで世界を救うことが出来るのかなど思っていたり、政治情勢をみたり、いろんな事を見ているとあまりにも理念がないというか、何もないわけで現実が成功してしまっている。もちろんIT革命によって我々の道具であり手段が一つ増え、持っているものと持っていないものとの格差が激しくなってゆくだけであり、物を作り、物を売っていく流れの中でいろんな流通問題が21世紀になっておきってくるのですが、IT革命情報とか、いろいろありますがそれを選定するのが最終的には大衆です。

例えば、ユニクロさんが日本にない構造を持ってきて売れるわけです。21世紀は、競走の時代です。残るには、どうしたら良いか。企業防衛をして行くには。結局は、ロータリー的にはどのように考えたらと思いますが、先ほど申しましたように職業奉仕の理念を抱きつつ如何に企業が収益を求めているか。今までは、時代背景の中で良き時代がありましたから、それで通ってきたのですが、今は、通らなくなってきた。その溝があまりにも大きくなってきた。その溝の前で我々は、ロータリーの理念を如何に抱いていくか、と云うことです。

職業奉仕が自分の天職の奉仕であると思います。天職の奉仕をさせてもらえることに感謝。そこで「四つのテスト」で確かめながらやっていくことになるのです。天職とサービスの葛藤を超えてやっていくのが職業奉仕と思っています。

# 「職業活動」の自己診断

(集計結果)



100

## 職業奉仕採点表

下記の20項目を検討し、あなたの実績に対するあなた自身の評価に従って0点から5点までの点数を各項目ごとにつけて下さい。

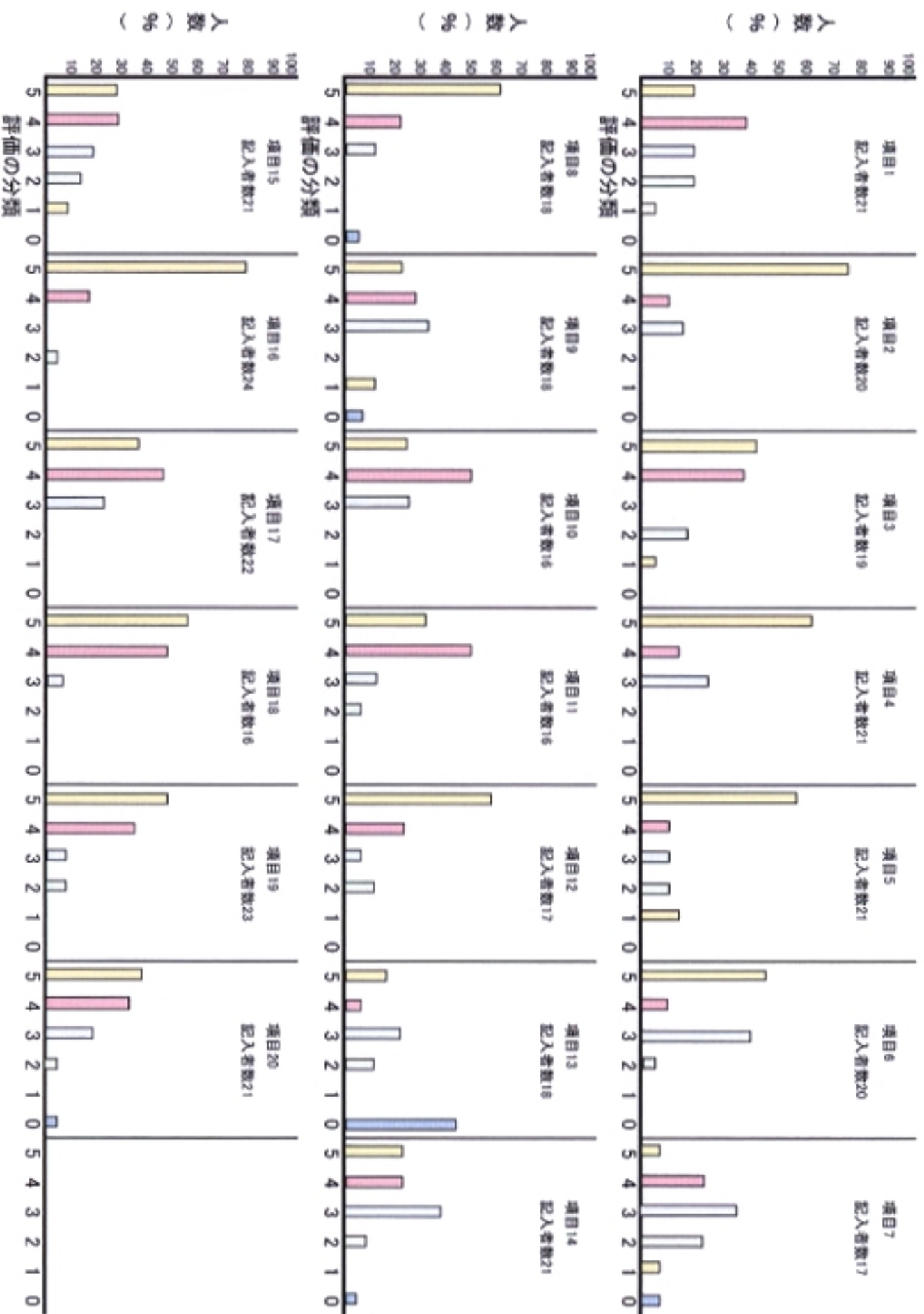
1. ロータリーの会員であることにより、職業を通じての私の社会奉仕活動は増加しました。( )
2. 私は適正な利益に対し、適正な価値あるものを提供します。( )
3. 私は必要な品物またはサービスのみを販売します。( )
4. 私の商売の信条は親切であります。( )
5. 私は、たとえそれが商習慣であっても、如何なる形の賄賂(わいろ)も回避します。( )
6. 私は商売上の競争相手に対しても友好的であり、共通のサービスを改善するため、互いに協力します。( )
7. 私は商業上の高い道徳的水準を理解し実践するよう青少年を援助します。( )
8. 私の広告はこの生産物を正しく表示します。( )
9. 私は道徳的慣習支持のため、同業組合において熱心に働きます。( )
10. 私は従業員の提案を激励します。( )
11. 私は従業員に十分昇進の機会を与えます。( )
12. 私は、従業員の過失につき私にも責任があるときは、それを分担します。( )
13. 私は職業奉仕に対する理解を深めるため、奉仕こそわがつとめを読みました。( )
14. 私は私の職業においてロータリーの奉仕の理想を分かち合う手段として、四つのテストを使用します。( )
15. 私は私の職業において、できるだけ他の人々を援助します。( )
16. 私は諸勘定を速やかに支払います。( )
17. 私は賠償請求、苦情および紛争の処理に関し、相手方の権利をも考慮します。( )
18. 私は従業員に適正な賃金を払います。( )
19. 私は経費の記録、保険金の請求、税金の申告、その他諸会計書類の作成に当り、正直を旨とします。( )
20. 私が実践することによって、ロータリーは正しく評価されるものと信じます。( )

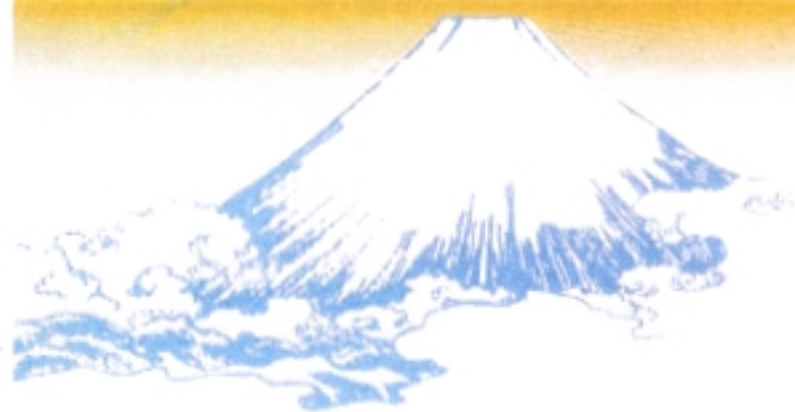


## 職業奉仕自己診断採点表集計

項目 No	記入者数	評価の分類	5	4	3	2	1	0
1	21	人数	4	8	4	4	1	0
		%	19	38	19	19	5	0
2	20	人数	15	2	3	0	0	0
		%	75	10	15	0	0	0
3	19	人数	8	7	0	3	1	0
		%	42	37	0	16	5	0
4	21	人数	13	3	5	0	0	0
		%	62	14	24	0	0	0
5	21	人数	12	2	2	2	3	0
		%	56	10	10	10	14	0
6	20	人数	9	2	8	1	0	0
		%	45	10	40	5	0	0
7	17	人数	1	4	6	4	1	1
		%	6	23.5	35	23.5	6	6
8	18	人数	11	4	2	0	0	1
		%	61	22	11	0	0	6
9	18	人数	4	5	6	0	2	1
		%	22	28	33	0	11	6
10	16	人数	4	8	4	0	0	0
		%	25	50	25	0	0	0
11	16	人数	5	8	2	1	0	0
		%	31	50	13	6	0	0
12	17	人数	10	4	1	2	0	0
		%	58	24	6	12	0	0
13	18	人数	3	1	4	2	0	8
		%	17	6	22	11	0	44
14	21	人数	5	5	8	2	0	1
		%	24	24	38	9	0	5
15	21	人数	6	6	4	3	2	0
		%	29	29	19	14	9	0
16	24	人数	19	4	0	1	0	0
		%	79	17	0	4	0	0
17	22	人数	8	9	5	0	0	0
		%	36	41	23	0	0	0
18	16	人数	9	6	1	0	0	0
		%	56	38	6	0	0	0
19	23	人数	11	8	2	2	0	0
		%	47	35	9	9	0	0
20	21	人数	8	7	4	1	0	1
		%	38	33	19	5	0	5

## 各項目の評価の分類と人数(%)の関係





歌で詠む

職業奉仕







俳  
句  
集



笑みたたえ

あなたも私も

得をする

久留 宏幸

働けど

親はいうけど

職はなし

収穫期

稔る稲穂に

笑みうかぶ

上田 富雄



店先で

四つのテストを

思いつ

毎日に

楽しさ入れて

仕事する

暑さにも

笑顔笑顔で

奉仕する

小高太三郎

ふれあいて

情報開示

顔見える

遠藤 悦郎

米作り

農薬へらす

心意気

毒舌をすぎ

志あり

雲の峰

八野登志男

公平は

怒ての人に

思いやり

真心で

客と接する

妻笑顔

八野 聡

プロフィット

考えずにする

アイサーブ

宮川 恒二

弱音

隣近所

迷惑で

会社の

従業員の

思いやり

社長と

呼ばれているが

苦勞バカ

寺田 政夫



業は

愛と心と

真実と

公平は

業のため

人のため

中尾 益夫

ロータリー

その真髄は

職業奉仕

何気ない

日々積み重ね

職業奉仕

保山 政廣

信用と

人づくりこそ

店づくり

古川 敏夫

携帯に

あたまさげさげ

サラリーマン

帰宅道

今日の成果

誇らしく

小林 英樹



真実を

いつも背にして

客迎え

無理押し

業者に笑顔

たやさずに

川崎 孝雄



The page features decorative floral patterns in the corners. The top-left corner has a pattern with blue and yellow flowers on a purple background. The bottom-right corner has a pattern with red, white, and blue flowers on a purple background. The central text is written in a vertical column.

短  
歌  
・  
和  
歌  
集

独善手

これなら絶対と

指そうとする

前にひと休み

みんなに公平か

久留 宏幸

何事も

四つのテストを

もとにして

自己責任で

奉仕の精神

遠藤 悦郎



人は良し

腕もそこそこ

金はなし

傷口なめてよ

ロータリアン

妻が言う

仕事仕事と

口くせね

だってほんとに

仕事の日やもん

明日こそ

来年こそは

やめようと

耐えてしのんで

趣味仕事

辻内 清一

何事も

感謝の気持ち

忘れずに

お得意先の

わがままを聞く

明日景にも

トンボが止まり

あきかぜが

塗装するほは

さわやかにふく

小林 英樹



奉仕奉仕と

山高ホウシヤ

つくつくホウシ

職業奉仕は

我らが奉仕

我なりわい

大きい事は

言えないが

一陽照らす

職業奉仕

この不況

人の事まで

構われぬ

されどやりたい

職業奉仕

幸野 陸紀







働きて

流れ出る汗

拭いつつ

息えるしばし

うれしかりけり

米田 實豊

立ち止まり

悩めるとき

道しるべ

四つのテスト

しあわせの道

中尾 益夫

負け組みに

なるを阻止せよ

この不況

あの手この手で

あえく毎日

あいさつに

もうかりまっか

ぼちぼちや

云える日がくる

何時のことやら

倉橋 久雄



秋祭り

祭籠子に

笛と銭

不況不況と

鳴り響く

さあ仕事

スバナ片手に

頑張るぜ

儲かりまっか

ぼちぼちですな

仕事人

誰にも負けずと

頑張れば

やればやるほど

幸せ家族

川端 茂巳

ともすれば

流されがちな

日常に

忘れちゃならぬ

職業本任

保山 政廣

大人にも

お遣いの子にも

公平に

あいさつをする

この頃の我

宮川 恒二



照れくさい

恥ずかしがりや

こんな人

まず始めよう

小さな奉仕

人のため

昼は奉仕に

精を出し

夜はわが為

宴に精を出す

馬場 章



ストレスを

与える上司と

受ける部下

なくし得るなら

店伸びる

いま世でも

誠心誠意の

おつとめが

人の信用

自と上げる

古川 敏夫



我が身にも

四つのテスト

問かけつ

印鑑頼み

走る一日

川崎 孝雄

